

2 大塚上の位置づけと特性

(1) 既定計画による大塚(大塚上)の位置づけ

大塚上を含む西風新都については、平成 20(2008)年 2 月に「ひろしま西風新都都市づくり推進プラン」を広島市が策定しています。

その中で大塚上に関わる主な内容を整理します。

① 軸と拠点

●中央軸と地域軸の通るまち・大塚

大塚には、西風新都中央線と中筋沼田線が通っていて、前者が中央軸、後者が地域軸に位置づけられています。

<中央軸>

西風新都中央線の沿道は、商業・業務施設等の集積を進め、西風新都の中核的役割を担う地区の形成を図る。

<地域軸>

中筋沼田線など幹線道路の沿道は、都市活動を円滑に行うため、幹線道路が有する広域的な交通機能を活用して都市型住宅、生活利便施設等の立地を促進する。

●地区拠点の位置づけ

大塚の西風新都中央線と中筋沼田線が結節する付近を中心とした区域は、地区拠点に位置づけられています。

<地区拠点>

アストラムライン駅周辺や幹線道路の交差点周辺など立地特性、利便性の優れた場所は、商業・業務施設、公益施設等の集積を進めることにより、拠点機能の向上を図るとともに、良好な市街地環境の整備を促進する。

② 計画誘導地区(平地部)のまちづくりの方針

<計画誘導地区(平地部)全体>

○ 各地区の特性を生かし、地域住民が主体となったまちづくりの促進を図る。

<大塚地区>

- アストラムライン大塚駅周辺は、西風新都の中央軸上にあるとともに、広島西風新都線（広島高速 4 号線）を通じて都心と直結するという、優れた立地特性を生かし、交通機関相互の乗り継ぎの利便性の向上や商業・業務施設、公益施設等の集積により、地区拠点（大塚地区拠点）の形成を図る。
- 幹線道路の沿道は、都市型住宅、生活利便施設等の立地を促進する。
- その他の地区は、農地や里山などの地域資源を生かした土地利用を図る。

(2) 大塚上の特性

大塚上の特性を大きく次の3つの視点から把握し、整理します。

- 大塚上の資源・特色
- 大塚上の問題点・留意点
- 大塚上の広域的な役割

大塚上の特性	＜大塚上の資源・特色→生かしたい大塚上の資源＞ ○田園（都心から15分のところにある田園と自然） ○里山の自然 ○竹・竹林（問題点となることも） ○西風新都の中央、十字路 ○地区拠点（ひろしま西風新都都市づくり推進プラン） ○中央軸（西風新都中央線）と地域軸（中筋沼田線）の結節点（同上） ○2つの大学が隣接 ○広島広域公園が隣接（広島ビックアーチはサンフレッチェ広島のホームスタジアム） ○数多くの神社の存在 など
	＜大塚上の問題点・留意点→何とかしたい大塚上の問題点・留意点＞ ○狭い生活道路 ○通過交通の流入 ○人口の減少と少子高齢化 ○公園・広場の不足 ○一部、未整備の河川 ○農地の維持管理の負担・不安、後継者不足 ○鳥獣被害 ○生き物が少なくなった川 ○駅周辺などの土地活用 など
	＜大塚上の広域的な役割→担いたい大塚上の役割＞ ○都心直結の田園と緑の環境（農業体験、自然体験、リフレッシュ、田園居住の場） ○西風新都の玄関口 ○西風新都の中央・十字路としての立地性を生かした生活・交流拠点 など

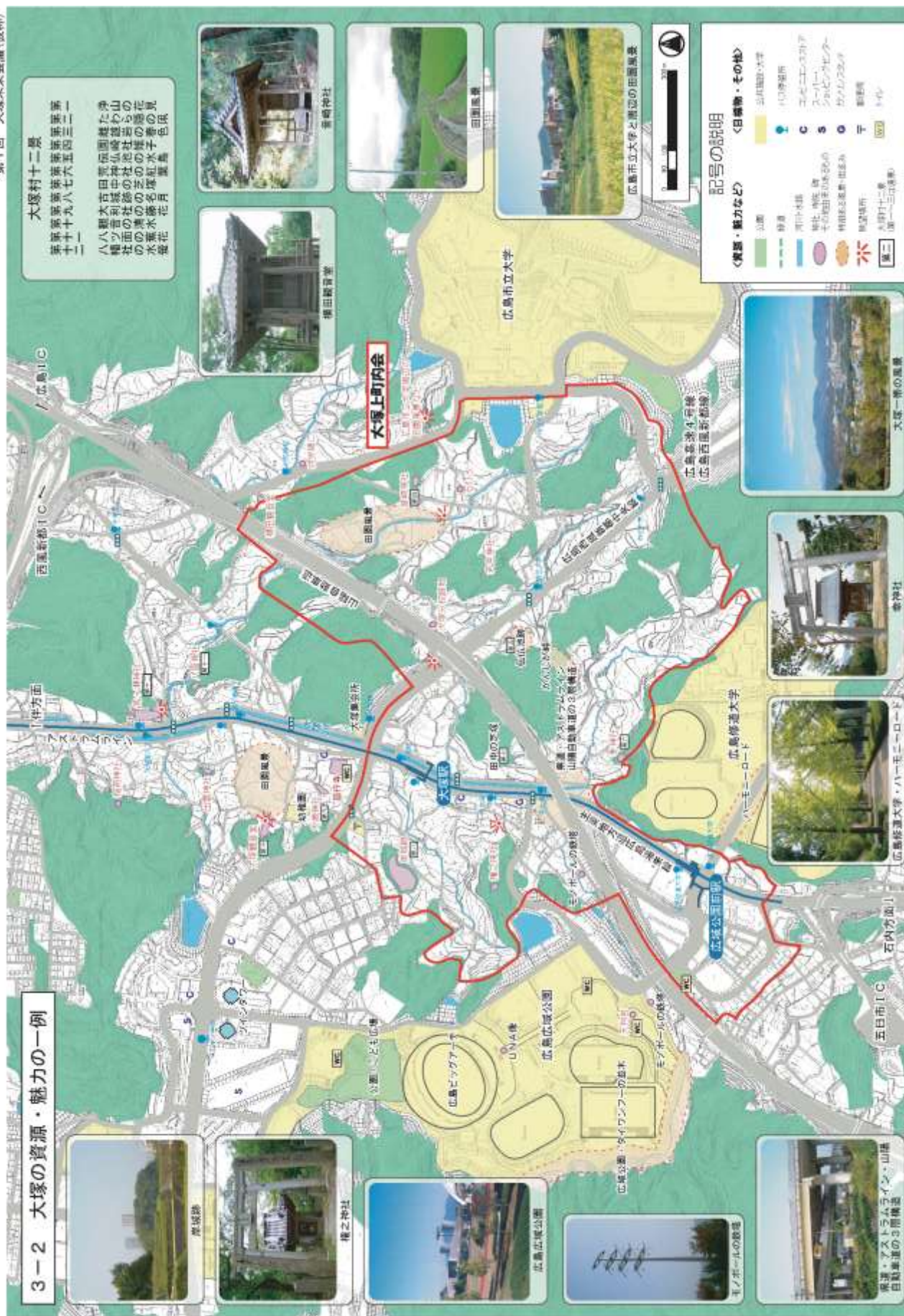


図 大塚の資源・魅力の一例 (平成19年度「第1回大塚未来会議・資料」)